

確かな学力を育て、豊かな人間性を培う  
「自分が好き、なかまが好き、栄が好き」  
～ウェルビーイングを実現し、児童・保護者・地域に信頼される学校づくりの推進～

## 1 はじめに

学校教育は、児童が心豊かでたくましく生きる力を備え、調和のとれた人間としての成長を具現化することに目標がある。そこで、栄小学校の48年の歴史と伝統並びに特色ある地域性、そして児童の実態に即しながら、「生きる力」すなわち、将来、幸福な人生を歩むために必要な自立する力を身に付けた児童の育成に努める。

令和5年閣議決定された「第4期教育振興基本計画」には今後の教育の方向性を示す羅針盤となるべきものを目指し、「持続可能な社会の作り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が2つの大きなコンセプトとして示されている。

ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に良い状態であることを表し、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含む概念である。また、多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念でもある。

第4期教育振興計画で示されている日本社会に根差したウェルビーイングの向上とは「自己肯定感や自己実現などの獲得的な要素と人とのつながりや利他性、社会貢献意識などの協調的な要素を調和的・一体的に育み、日本社会に根差した「調和と協調」に基づくウェルビーイングを教育を通じて向上させることである。※1

そこで栄小では、小規模な学校ならではの「協働性」をより一層高めて、全教職員のウェルビーイングも大切にしながら「チーム栄小」として一丸となり教育活動に取り組む。また「自分が好き、なかまが好き、栄が好き」を合い言葉として、計画的、組織的に一人一人の児童の「調和と協調」に基づくウェルビーイングの向上を目指す。そして、多様な学びにより、学ぶ楽しさを味わわせる教育活動を推進し、確かな学力を育て、児童・保護者・地域の人々に信頼される学校づくりを目指す。

※1 第4期教育振興基本計画リーフレットより（令和5年6月16日閣議決定）  
「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」

個人が獲得・達成する  
能力や状態に基づく  
ウェルビーイング  
（獲得的要素）

- ・自己肯定感
- ・自己実現 など

人とのつながり・関係性に  
基づくウェルビーイング  
（協調的要素）

- ・利他性
- ・協働性
- ・社会貢献意識 など

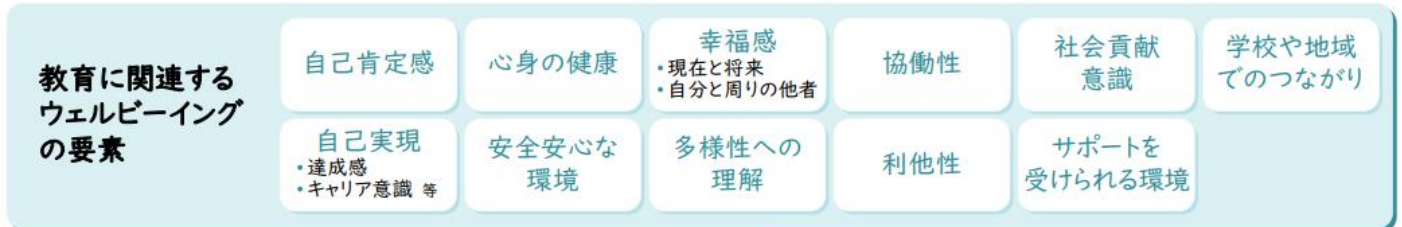
両者を調和ある形で一体的に  
向上させていくことが重要



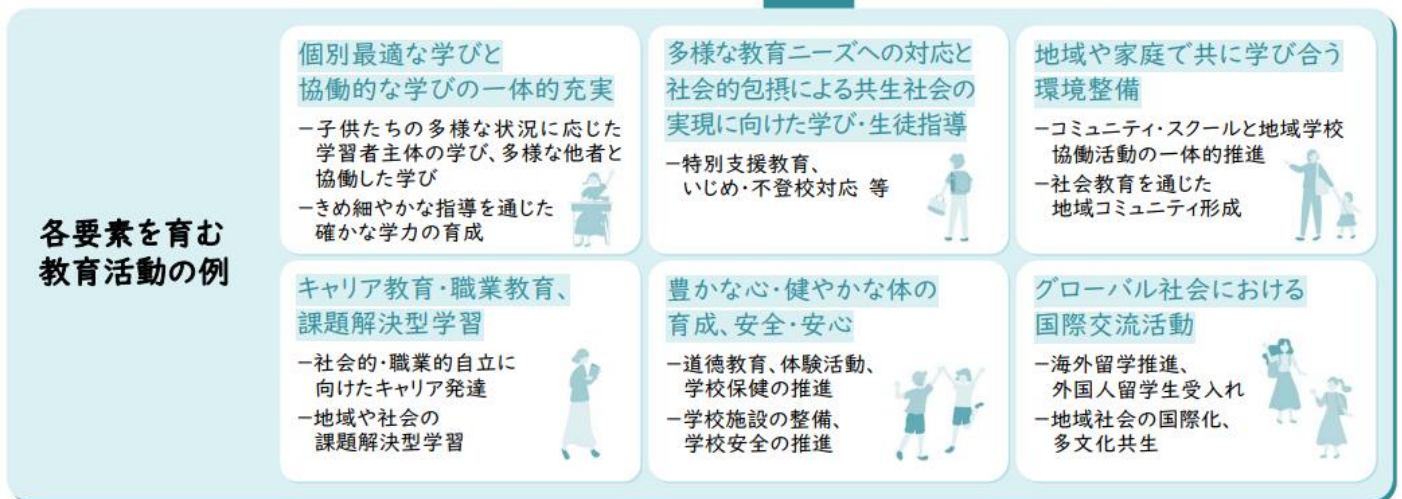
# 教育とウェルビーイング

日本社会に根差した  
ウェルビーイングの向上

- 不登校やいじめ、貧困など、コロナ禍や社会構造の変化を背景として子供たちの抱える困難が多様化・複雑化する中で、一人一人のウェルビーイングの確保が必要
- 子供・若者に、つながりや達成などからもたらされる自己肯定感を基盤として、主体性や創造力を育み、持続可能な社会の創り手の育成を図る必要
- 地域における学びを通じて人々のつながりやかかわりを作り出し、共感的・協調的な関係性に基づく地域コミュニティの基盤を形成



## 教育活動全体を通じたウェルビーイングの向上



## 主観的認識のエビデンス把握

# 教師のウェルビーイング、 学校・地域・社会のウェルビーイング

日本社会に根差した  
ウェルビーイングの向上

子供たちのウェルビーイングを高めるためには教師をはじめとする学校全体のウェルビーイングが重要。また、子供たち一人一人のウェルビーイングが、家庭や地域、社会に広がっていき、その広がりが多様な個人を支え、将来にわたって世代を超えて循環していくという姿の実現が求められます。



## 2 学校教育目標等

<b>学校教育目標</b>		
<b>確かな学力を育て、豊かな人間性を培う</b>		
<b>目指す学校像</b>		
ウェルビーイングを実現し、児童・保護者・地域に信頼される学校 合言葉「自分が好き、なかまが好き、栄が好き」		
<b>目指す児童像</b>		
「さわやかな子」(体、生活) 「かしこい子」(知) 「えがおのある子」(徳)		
<b>目指す教師像</b>		
「栄プライド」※3 を実践している教師 —積極的な生徒指導・発達支持的生徒指導ができる教師— ウェルビーイングを考える教師—児童、保護者、地域、教職員それぞれのウェルビーイングを尊重する教師—		
<b>具現化の視点と内容(特色ある学校づくり)</b>		
<b>さわやかな子</b>	<b>かしこい子</b>	<b>えがおのある子</b>
「自立する力と自律の心」 を育む	「豊かな創造力」を育む	「優しい想像力」を育む
<b>具現化の内容 【★重点指導内容】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>★①体力の向上               <ul style="list-style-type: none"> <li>・個の取組の充実(なわとびチャampion等)</li> <li>・体育の授業のより一層の充実</li> </ul> </li> <li>②保健・安全教育、食育の充実と安全管理の徹底</li> <li>③進んで挨拶、場に応じた言葉遣いの指導の徹底               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいさつ名人、達人」を目指す気運の醸成</li> </ul> </li> <li>★④デジタル・シティズンシップ教育の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄小GIGA宣言の徹底(端末使用時の約束)</li> <li>・デジタル社会の善き担い手の育成</li> </ul> </li> <li>⑤整理整頓、黙動清掃など学校美化や心の浄化への取組</li> <li>★⑥教育相談的な生徒指導の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「KOKORO タイム」の活用</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①栄小学習スタイルの徹底               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習規律の共通指導</li> <li>・ねらいの提示と振り返りの実施</li> </ul> </li> <li>★・指導と評価の一体化</li> <li>②学力テストを活用した児童の実態把握による学力向上策の策定</li> <li>★③個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的で深い学びの指導の充実</li> <li>・ICT 機器の積極的な活用</li> <li>・キュビナ(知識・技能の習得)、ロイロノート(思考力・判断力・表現力)</li> <li>・自由進度学習の充実(算数を中心として)</li> </ul> </li> <li>★④探求的な学びの指導の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく、主体的に学ぶ授業の展開</li> </ul> </li> <li>⑤生活科、総合的な時間の学習を中心としたカリキュラム・マネジメント</li> <li>★⑥多様な学びの場の設定               <ul style="list-style-type: none"> <li>・異学年交流・地域での学び</li> <li>・教科担任、チーム担任</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★①道徳教育、道徳科の時間の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・個性の伸長、希望と勇気・努力と強い意志、親切・思いやり、礼儀、規則の尊重、生命尊重を重点</li> <li>・情報モラルやSDGsとの関わり</li> </ul> </li> <li>★②児童を主体とした、ふれあい活動の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動の充実</li> </ul> </li> <li>③キャリア教育の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアパスポートの継続</li> </ul> </li> <li>④読書環境の整備充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書100冊・1万ページの表彰</li> <li>・新座市必読図書読破</li> </ul> </li> <li>⑤オリンピック・パラリンピック教育のレガシーの継承(多様性と共生)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・パラスポーツの取組</li> <li>・日本文化の理解(おもてなしの心)</li> </ul> </li> <li>★・SDGsの理解、取組</li> <li>⑥生活科・総合的な学習の時間や校外学習における体験活動の充実</li> </ul>
<b>★特別支援教育</b> (1) 子供一人一人の教育的ニーズを踏まえた適切な教育を提供するための相談体制や指導体制の整備 (2) 個に応じた適切なカリキュラム(個別の指導計画等)の作成と <b>確実な情報共有</b> (3) 障がいの有無、個々の違いを認識した共生社会の一員としての意識の醸成(インクルーシブ教育への理解)		
<b>★家庭・地域との積極的な連携</b> (1) 学校運営協議会の開催 (2) 地域人材(学校応援団・学習支援ボランティア等)の活用、地域行事への参加 (3) 積極的な授業公開( <b>オープン授業</b> ) (4) HPの充実		

※3「栄プライド」とは  
栄小学校の学校力をより一層向上させるために、教職員としてつべき意識を明文化したもの。

### 【学習指導・生活指導】

私は児童一人一人の伸びを認め、適切な支援や評価をします。

### 【教育相談】

私は公平な目をもって、児童一人一人に寄り添います。

### 【研修】

私は児童の豊かな学びの実現のため、日々研修に励みます。

### 【保護者・地域との連携】

私はコミュニティ・スクール栄小の一員として、笑顔で誠実に対応します。

### 【信用失墜行為の禁止・信頼関係づくり】

私はいつも心にゆとりをもち、児童の模範となるべく行動をします。

### 3 学校研究（令和6年度）

令和6年度 新座市教育委員会委嘱（2年目）

「確かな学力を育てる ～自ら学びに向かう児童の育成～」

生活科・総合的な学習の時間

#### 〈研究計画の概要〉

<p>1年目 (令和5年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研究組織の編成</li> <li>・研究テーマの設定</li> <li>・研究の進め方の確認</li> <li>・指導者の選定、依頼</li> <li>・年間指導計画の見直し</li> </ul>
<p>研究経過</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者：若村健一 様 (文部科学省 初等中等教育局 教育課程課教育課程総括係)</li> <li>・夏休みの研修（講話）</li> <li>・研究仮設、目指す児童像の設定</li> <li>・生活科・総合的な学習の時間研究授業 学年ブロックごとに研究授業 低学年…2年2組 「うごく うごく わたしの おもちや」 中学年…3年1組 「平和な未来をつないでいくために」 高学年…6年2組 「実社会で働く人々の姿と自己の将来 ～理想の自分に近づくためにできることは～」</li> </ul>
<p>2年目 (令和6年度) 研究経過</p>	
<p>3年目 〈発表会〉 (令和7年度)</p>	

#### 4 学校経営の重点目標（**○新座市学校評価システム**と連動）と方策

学校経営の重点目標	方 策
<p>(1) 組織運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「チーム栄小」の自覚と栄プライドをもった組織的な学校運営</li> <li>・ウェルビーイングの向上を目指した働き方改革の実践。</li> <li>・特別支援教育の深い理解と組織的な対応</li> </ul> <p>○学校は働き方改革を進めるため、校務分掌や教育課程等を適宜見直し、教職員の意識を高めるように組織的に取り組んでいる。</p> <p>○学校は児童の発達の段階に応じた適切な配慮を行い一人一人にとって、最適な学びを提供するよう努めている。</p>	<p>①教職員による「栄プライド」の実践と倫理確立委員会の充実</p> <p>②教職員の能力を適材適所で生かす組織づくり</p> <p>③組織として取り組む気運の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年を単位とした取組、教科担任制の充実</li> </ul> <p>④働き方改革の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器活用による効率的な情報共有と会議の効率的な実施</li> <li>・在校時間の短縮とふれあいデー（月1回県の取組）すいすいデー（毎週水・金曜日の短縮日課）の完全実施</li> <li>・栄小SDGsの実践（持続可能な教育活動のための教育活動の見直し）</li> </ul> <p>⑤生活科、総合的な時間の学習を中心としたカリキュラム・マネジメント</p> <p>⑥特別支援教育の理解と発達に応じた適切な学びの場の提供</p>
<p>(2) 学力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力を育てるため、指導と評価の一体化を重視した授業の展開</li> <li>・個別最適な学び、協働的な学びの充実のため、ICT機器の積極的な活用</li> <li>・探究的な学びの充実</li> </ul> <p>○学校は児童が学習内容の理解を深めることができるよう、指導と評価の一体化を重視した授業を展開している。</p>	<p>①指導と評価の一体化を重視した授業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導に生かす評価、記録に残す評価の検討</li> </ul> <p>②学力テストを活用した実態把握と学力向上策策定</p> <p>③個別最適な学び、協働的な学びの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的、対話的で深い学びの充実</li> <li>・ICT機器、キュビナ、ロイロノートの積極的な活用</li> <li>・自由進度学習の取組</li> </ul> <p>④探究的な学びの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が楽しく、主体的に学ぶ授業の充実</li> </ul> <p>⑤学びの場の多様化（教科担任、チーム担任、異学年交流、地域での学び）</p> <p>⑥校内研究を中心とした年間20回以上の校内研修実施</p>
<p>(3) 豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個性の伸長、希望と勇気・努力と強い意志、親切・思いやり、礼儀、規則の尊重、生命尊重に重点をおいた全教育活動における道德教育の推進</li> <li>・児童を主体としたふれあい活動、体験活動の充実</li> <li>・積極的に予防的な生徒指導、自律的な規範意識の醸成</li> </ul> <p>○学校は児童一人一人が個の特性を認め合って学校生活を送ることができる環境を整備している。</p>	<p>①SDGsや情報モラルとの関連を位置づけた道德教育、道徳科授業の実践</p> <p>②「あいさつ名人、達人」を目指す気運の醸成、表彰</p> <p>③ウェルビーイングを考えた学級経営</p> <p>④特別活動やレガシーから多様性、共生社会の理念を引き継いだ取組の充実（パラスポーツ、日本文化、SDGs）</p> <p>⑤共通行動としての授業規律、学習ルールの徹底（チャイム着席、栄小スタイル、栄小GIGA宣言の徹底【デジタル・シティズンシップ教育・情報モラル】）</p> <p>⑥定期的な児童のいじめアンケート調査や「KOKOROタイム」等の教育相談的生徒指導の推進</p>
<p>(4) 健康・体力の向上・安全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の児童の実態にあった体力づくりの取組、健康の保持、増進</li> <li>・保健・安全教育充実し安全管理の徹底</li> </ul> <p>○学校は体育の授業、休み時間などを通じて、児童生徒が意欲的に運動に親しむような取組を行い、体力向上に努めている。</p> <p>○学校は、事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。</p>	<p>①個でも取り組める体力向上策の実践（なわとびチャンピオン等の計画的、組織的な取組）</p> <p>②体育の授業のより一層の充実、運動に親しむ場づくり</p> <p>③学校保健委員会等での児童や保護者、地域への健康の保持、増進の大切さの啓発</p> <p>④安全管理、危機管理の定期的な見直し</p>
<p>(5) 保護者、地域との連携協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、地域との連携を一層充実させる学校運営協議会の実施</li> <li>・授業や行事の積極的な公開</li> </ul> <p>○学校は保護者や地域の方が教育活動を参観できる機会を設けたり、保護者や地域と連携した活動を計画的に実施したりしている。</p>	<p>①学校運営協議会の定期的な開催</p> <p>②地域人材（学校応援団、学習支援ボランティア等）の計画的な活用</p> <p>③授業参観時以外での積極的な行事や授業の公開（オープン授業・各学年学期1、2回程度）</p> <p>④学校ホームページのより一層の充実</p>